

テレビ電話通訳の試み

iPadを使った



外国人観光客の買い物を助ける、iPad(タブレット型端末)を使った通訳サービスの実験。25日、那覇市の第一牧志公設市場周辺

読んで
広がる
NIE

日本語の話せない外国人観光客の買い物に助けようと「なは市場振興会」(新里俊一理事長)は25日、那覇市の第一牧志公設市場周辺で、iPad(タブレット型端末)を使った通訳サービスの実験を実施した。

新里理事長によると、公設市場を訪れる外国人観光客は増えているが、店員に言葉が通じず、買い物諦めてしまう客が多い

外国人向け、なは市場振興会

という。持ち運びに便利なiPadの通訳サービスを使うことで、言葉を気にせずいつでも店員とやりとりができるようになる。

ネットに接続したiPadから専用アプリを開くと、画面に通訳の人が現れる。通訳に質問したいことを伝えると、日本語に訳して相手に伝えてくれる。用意している言語は英語、中国語、韓国語だ。

なは市場振興会は、さらに実験を重ね、年内のサービスの実施を目指している。問い合わせは同振興会 ☎098(863)0840。